



数学の語呂合わせ

もうすぐ連休です。五月四日は何の日か知っていますか？ SF 映画マニア ニュートンの力の方程式なら、きっと知っている日です。この日は"Star Wars"の日です。

五月は、"May"「メイ」でしたね。そういえば、スタジオ・ジブリの「トトロ」に出てくる 五月とメイはどちらも五月ですね。これは、宮崎駿監督の遊び心でしょうか？

次に、四日は四の four に th がついて四番目を表す"fourth"。このように順番を表すのを英語では、序数といい、分数にもこれを使います。四分の一は quarter もよく使われますが one fourth です。上から下、分子から分母と読みます。一斉授業でよく言っているように、日本語と分母分子を読む順が逆ですね。日本語は下から上と逆なのが、分数のハードルを高くしている一つの原因かもしれません。さて、これで五月四日を英語で言うと May the fourth これと"Star Wars"の決め台詞 "May the Force be with you !" を発音してみてください。

(ここで、少し英語の話も."Force"は映画を見た人なら分かるように「力」です。"may" は英語では助動詞といい、「～しても良い」「～かもしれない」という意味ですが、この様に文の先頭に来ると、「～であることを願う。」「～であれ」という意味になります。有名なクリスマスソング "White Christmas"のサビの所は "May your Christmas be white" です。) これから "May the Force be with you !" は「フォース (力) よ汝と共にあらんことを!」となります。

このように、発音が同じ文や言葉と合わせて、印象づける事はよくあります。

数学では、覚えておくと便利な数値を覚えるときに使われ、語呂合わせと言います。

(もともと、語呂の呂というのは日本の古典音楽、雅楽で偶数音階のことを呂、奇数音階のことを律といった事から来ているそうです。ですから、「言葉を調子よく合わせる」ということで、酔っ払ったときなどに、言葉がうまく言えなくなる、「呂律が回らない」はこれからだそうです。)

それでは、数学での語呂合わせを見ていきましょう。ルートについてのものが多いです。

ルートは、中学校数学最後の難関ですが、自主夜間中でも、一斉授業で夏までにはやりたいところ。とりあえずは、数楽通信第一号「ソメイヨシノ」の裏を参照して下さい。

そこでも出てきた $\sqrt{2} \approx 1.41421356 \dots$ 「一夜一夜に人見頃」は、桜の満開までの様子を表した語呂合わせ $\sqrt{3} \approx 1.7320508 \dots$ 「人並みに奢(おご)れや」は、よっぽどケチな人のようです。 $\sqrt{4}$ は二乗して4になる数ですから $\sqrt{4} = 2$ で語呂合わせは必要ありません。

$\sqrt{5} \approx 2.2360679 \dots$ 「富士山麓オームなく」は、オーム真理教の事件の時は、偶然にビックリしましたが、そのずっと以前からの語呂合わせです。

$\sqrt{4}, \sqrt{6}, \sqrt{8}, \sqrt{9}$ が語呂合わせが必要ないのも、ルートの勉強で分かってきます。

$\sqrt{7} \approx 2.64575 \dots$ は 7 から始めて「菜に虫いない」 $\sqrt{10} \approx 3.16227766 \dots$

も 10 から始めて「人丸は三色に並ぶ」です。円周率 π についても語呂合わせがあります。

$\pi \approx 3.14159265358979 \dots$ 産医師異国に向う産後厄無く

語呂合わせが、いつ頃からというのははっきりしませんが(ご存じの方がおられたら教えて下さい)、おそらく、明治時代に数学が教えられるようになって、そう時間がたたないうちにできていると思われまますから、少なくとも百年以上、二百年近く経っていると思います。

皆さんも、新しい語呂合わせを思いついたら教えて下さい。

最後に、岡山自主夜間中に来られる方にも、学問の力 “Force”

フォースが宿る ことを願って。

"May the Force be with you !"

